

一般質問通告書

令和7年11月18日

弥富市議会議長 殿

弥富市議会議員

板倉克典

下記のとおり質問したいので通告します。

記

書画カメラ	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない (どちらかにレ点を付ける) ※通告書提出後は、議長に許可を得ること (口頭可)。
-------	---

件名	1 健康寿命を延ばす介護予防事業と市民
質問項目 及び要旨 (具体的な内容)	<p>(1) 介護予防事業の現状に関して</p> <p>① 介護予防事業、元気塾の令和5年度と令和6年度の参加人数は。</p> <p>② 元気塾の令和6年度の運営費用は。そして令和7年度、運営費用の予定金額は。</p> <p>③ 介護予防事業、元気塾は令和8年度も継続か。</p> <p>④ スマイル教室の令和5年度と令和6年度の参加人数は。</p> <p>⑤ 介護予防事業スマイル教室の令和6年度の運営費用は。そして令和7年度、運営費用の予定金額は。</p> <p>⑥ 介護予防事業スマイル教室令和8年度も継続される事業か。</p> <p>⑦ 介護予防事業スマイル教室はなぜ事業中止か。</p> <p>⑧ このスマイル教室の事業廃止はJR名鉄弥富駅橋上駅舎化で莫大な予算が必要になる事に向け、他部署を含めたコスト削減の一環か。</p> <p>⑨ スマイル教室を弥富市の負担で止めずに継続してほしい。考えは。</p> <p>⑩ 代わりになる介護予防事業は考えているか。</p> <p>(2) 介護予防を考えた住民サービスの追加に関して</p> <p>① 加齢性難聴者への補聴器購入助成の考えは。</p> <p>② 後期高齢者医療健康診査で、認知症の検査を市の検診として実施する考えは。</p> <p>③ 市が考える介護予防事業の意義は。</p>

答弁者	担当部課長
-----	-------

件名	2 利用しやすい高齢者福祉タクシーと市民
質問項目 及び要旨 (具体的な内容)	<p>(1) 助成対象の一般福祉タクシー利用について</p> <p>① 近鉄弥富駅前のタクシー不足を市はどのように認識しているか。</p> <p>② 令和6年度の、助成対象の一般タクシーに乗車できるチケットの総配布枚数を、答弁お願いします。</p> <p>③ 令和6年度で利用された助成対象の一般タクシー会社6社（近鉄タクシー弥富蟹江グループ、近鉄タクシーナゴ屋地区グループ、ツバメタクシーグループ、フジタクシーグループ、東海交通、鯱第一交通）と、シバタタクシーの合計のタクシーチケット総使用枚数は。</p> <p>④ 助成対象の一般タクシー会社6社と、シバタタクシーを合わせた7社について、1社ごとの、令和6年度に使用されたタクシーチケットの使用枚数は。</p> <p>⑤ 近鉄弥富駅の北口と南口にあるタクシー乗り場の土地はどこの所有か。設置費用はどこが出したか。</p> <p>⑥ 助成対象になっている6社以外、最近弥富市から申請依頼の声かけをタクシー会社にしているか。</p> <p>(2) 駅前にぎわい創出に関するタクシー会社について</p> <p>① JR名鉄弥富駅橋上駅舎化事業で新しくなるJR名鉄弥富駅の北口では、どこのタクシー会社が客待ちをしてくれる予定か。</p> <p>② 新しくなる名鉄弥富駅であるので、名鉄弥富駅北口に名鉄タクシーを誘致する考えは。</p> <p>③ 弥富市が考える高齢者等福祉タクシー料金助成事業の意義は。</p>
答弁者	担当部課長